

# OKAZAKI

## HOSKINS2300®

### SUPER COUPLE® 1000H&1000N (SC1000H&1000N)

# 高温用シース熱電対

## 大幅な コストダウンを 実現

従来、高価な白金系熱電対でしか実現できなかった1000℃を超える高温環境下で使用できるシース熱電対。

## 優れた 耐久性と安定性

特殊合金を採用したシースによって1250℃の環境下でも劣化を軽減。

## 長寿命

1000℃で2000hrの試験でも酸化せず長期使用が可能。

## 1250℃、2000hr 加熱耐久試験後の シース外観写真



HOSKINS2300®  
シース外径φ8.0



左 SC1000H  
右 SC1000N  
シース外径φ3.2

金属シース材に特殊合金を採用しているため高温時、金属表面に強固な酸化被膜が生成し自己防御形合金に進化します。結果、シース自体の高温酸化及び劣化を軽減させ、さらに外部アタック物質の浸透を阻止し、エレメント自体の劣化もセーブされ安定した出力を得ることができます。(裏面の当社試験データを参照して下さい。)

## 非加熱時の断面粒界写真

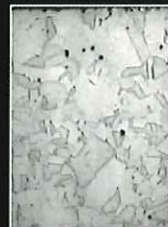


HOSKINS2300®



インコネル 600

## 1000℃、2000hr 加熱時の 断面粒界写真



HOSKINS2300®



インコネル 600

## 酸化試験

同条件環境下であれば従来のステンレス系シースやインコネル系シースに比べ、数倍の寿命が期待できます。



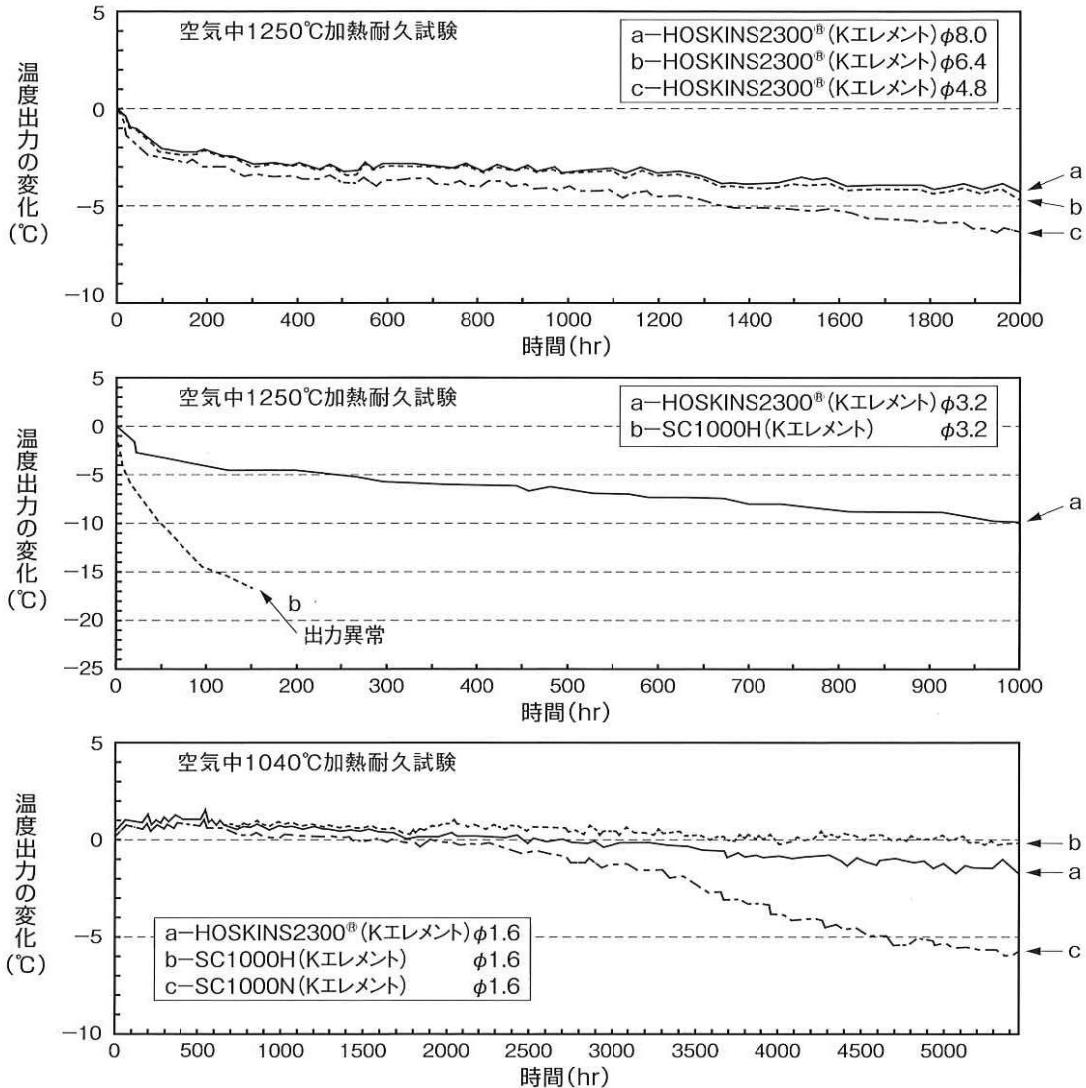
**OKAZAKI**  
株式会社 岡崎製作所

## ●仕様

シース外径(mm)		φ0.25	φ0.5	φ1.0	φ1.6	φ3.2	φ4.8	φ6.4	φ8.0
最高使用温度 (°C)	HOSKINS2300®	—	—	1000	1100	1200	1260	1260	1260
	SC1000H	700	900	900	1000	1000	—	—	—
	SC1000N	—	—	—	800	900	1050	1050	1050
	※ステンレス(参考)	500	600	650	650	750	800	800	900
エレメント		K(シングル)			K・N(Nは2300のみ)(シングル・ダブル)				
許容差		ASTM E230 SP·STD / IEC·JIS1・2							

※JIS C1605の常用限度を基準としています。但し、φ0.25、φ0.5はNCF600相当シースです。  
ここで言う最高使用温度とは公開資料、社内試験等を参考に記載しているものであって保証値ではありません。

## ●高温耐久試験



### 〔ご使用上の注意事項〕

当高温シース熱電対の特長は高温使用時に自己防御形合金シースに変化しますが、使用後に曲げると酸化物が割れシースが破損する恐れがあります。又、使用前に曲げる場合にはシース外径の10倍以上及び同一部分での曲げは避けて下さい。



株式会社 入江商会

本社 東京都千代田区神田佐久間町3-37 〒101-0025  
TEL 03-3862-7531 FAX 03-3862-7550  
神奈川営業所 神奈川県横浜市戸塚区矢部町1666-76 〒244-0002  
TEL 045-861-2121 FAX 045-861-8702  
E-mail: info@irie-shokai.co.jp URL: http://www.irie-shokai.co.jp